

体制

1. TO 一覧

チーフ TO / サブチーフ TO 一覧

| 名前 | ポジション | 役割 | 連絡先 |
|------|-------|--------------|-----|
| 武田広明 | チーフ | ラン統括 | |
| 下方純代 | サブチーフ | ラン移動兼務(主に先導) | |

TO 一覧および担当エリア

| 名前 | ポジション | 担当・役割 | 備考・備品 |
|-------|-------|----------------|-----------|
| 陣川 学士 | 移動 | 最後尾 | 自転車、ヘルメット |
| 小室博之 | H10 | ラン1km折り返し / AS | |
| 三井はるみ | H10 | ラン1km折り返し / AS | |
| 廣實正人 | H11 | | |
| 石野恵子 | H12 | | |
| 伊東豊信 | H13 | | |
| 篠原風沙 | H14 | AS | |
| 鶴見耕市 | H15 | ラン折り返し | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

業務詳細・留意事項

1. 共通事項

■ 競技のカテゴリ別にランコースが異なるため、競技の進行に合わせてコース変更を手際よく行う必要があります。

■ 例年、観客等がコース上に入ってくるが多々有り、競技をスムーズに遂行するためには適切な状況判断が求められています。競技の安全を最優先に審判業務に携わっていただくよう重ねてお願いいたします。

■ ランコースは6つのブロックに分け、各ブロックに審判員とスポーツ推進委員を配置します。担当ブロック内について責任をもって管理運営してください。

■ ブロックとブロックが接する場所は、各ブロックの審判員が協議して境界を決定し、コース上に管理空白地点を発生させないよう対応してください。

■ 休憩や昼食は、競技の合間を縫って適宜交代で取ってください。

2. 業務別詳細および留意点

■各ブロック別の審判員とスポーツ推進委員の配置は、「スタッフ配置図」の通りです。ブロック単位に審判員はスポーツ推進委員と協力して競技に支障の出ないよう責任を持って、安全を最優先にしてコースの維持管理をしてください

(1)審判員

- ブロックとブロックが接する場所は、各ブロックの審判員が協議して境界を決定し、コース上に管理空白地点を発生させないよう対応してください。
- カテゴリにより一部ランコースが異なるため、競技スケジュールに基づき担当ブロック内でのコース変更を的確に実施してください。前カテゴリのラン競技終了後速やかに次のカテゴリのランコースに変更してください。
- 担当ブロックの準備を最優先で実施してください。準備の遅れているブロックがあった場合は、協力して早期に完了するよう対応してください。
- 競技中においてもカテゴリにより当面選手が来ないと判断した場合には、自ブロックの運営に支障のない範囲で他のブロックの支援を適宜してください。
- ボランティアに任せられることは極力任せて、審判員は担当ブロック内を適宜巡回し競技に支障の出ないよう留意してください。
- ボランティアには、競技スケジュールを教えて役割を明確に指示し行動させてください。大きな声を出して選手の誘導や観客のコントロール等を積極的に担当させると共に、競技終了後に撤収する際には、担当ブロック内のコーン等の機材の集約も指示してください。もし、指示通り行動しない場合は注意をすること。それでも改善しない場合は、チーフやサブチーフに連絡してください。

(2)スポーツ推進委員対応

- スポーツ推進委員には、主に選手のランコース誘導と観客のコントロールを担当させてください。なお、現場の状況を踏まえて審判員の判断により他の作業の担当をさせる等適宜対応してください。
- 担当ポジションは、配置図の通りですが、現場の状況や競技の進行により適宜担当ポジションが変更になることを事前に周知させておいてください。
- 担当ポジションに、ただ立っているだけでなく周囲の状況も常に注意してコース管理を行うよう指導してください。
- コースのショートカット、レースナンバーが正面に無い、ウェアのファスナーが下がっている等の選手を発見した場合は、レースナンバーを控えて審判員に報告するよう指導してください。
- 周回チェック用の輪ゴムを渡す際には、確実に漏れなく1本ずつ選手に渡すよう指示してください。

3. 競技規則について（ラン）

- 本大会は(公社)日本トライアスロン連合競技規則および以下のローカルルールが適用されます。
- ランでは、上下ともウェアとシューズを着用すること。上下半身とも裸禁止です。発見した場合は着用させてください。
- シューズを履かずに裸足のまま競技することはできませんので、発見した場合はシューズを履かせてください。
- レースナンバーは正面に表示すること。ずれている場合、見づらい場合等は直させてください。
- 前空き前ファスナー付ウェアの着用は可ですが、前ファスナーを下げた状態のまま競技を行うことはできません。発見した場合はファスナーを上げさせてください。
- 刺青(タトゥー)は、競技中露出させないようウェアで全て隠すよう指導してください。手首まである場合などは、長袖のウェアで隠して競技をさせてください。ワンポイントのタトゥーもテーピング等で見えないように工夫させてください。(選手への参加案内には明記されていませんので出来るだけお願いしてください)
- シューズを履かずに裸足のまま競技することはできませんので、発見した場合はシューズを履かせてください。
- ヘッドフォンやイヤホンを装着したまま、競技を行うことは禁止されていますので、見つけた場合は、使用しないよう指導してください。

4. 救護を要する選手の対応

- 競技運営マニュアルに準じる